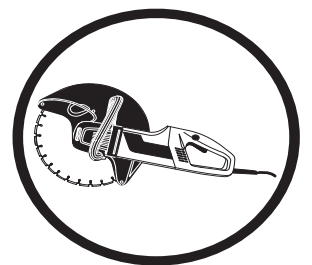


取扱説明書

K3000 EL K3000 SPRAY

この説明書をよく読み内容をしっかり把握したうえで、
パワーカッターを使用してください。



Japanese

シンボルマークの意味

警告！ パワーカッターは危険を伴う道具です。不注意な使用や不適切な使用によって、使用者や他の人々が重傷や致命傷を負う危険性があります。



本機をご使用になる前にこの取扱明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。



常に下記のを着用してください。

- 正規のヘルメット
- 正規のイヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー



この製品はEC規格適合製品です。



警告！ 切断によって、吸い込むと気道傷害の原因となる多量の粉塵が発生します。用途に合った呼吸マスクを使用してください。常に換気を十分におこなってください。



警告！ カuttingブレードから発生する火花から以下の可燃物に引火することがあります。ガソリン（気体）、木材、乾燥草など。

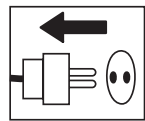


周囲に放出される騒音はヨーロッパ共同体（EC）の指令に従っています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章と銘板に記載されています。

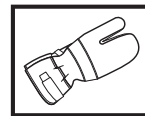


その他のシンボルやステッカーなどは、それぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示したものです。

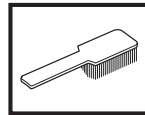
点検や整備の前には、モーターのスイッチを切り、プラグを外してください。



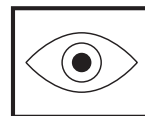
常に正規の保護手袋を着用してください。



定期的な清掃が必要です。



目視点検。



保護メガネやバイザーを必ず着用してください。



目次

目次

シンボルマーク

シンボルマークの意味.....2

目次

目次.....3

各部名称

パワーカッター各部の名称.....4

K3000 SPRAY.....5

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に.....6

身体保護具.....6

安全装置.....6

パワーカッターの安全装置の点検・
メンテナンス・サービス.....7

一般的な安全対策.....8

作業に関する一般的な注意事項.....8

カッティングブレード.....10

組立

組立.....13

カッティングブレードの取付.....13

ブレードガード.....13

始動と停止

始動と停止.....14

メンテナンス

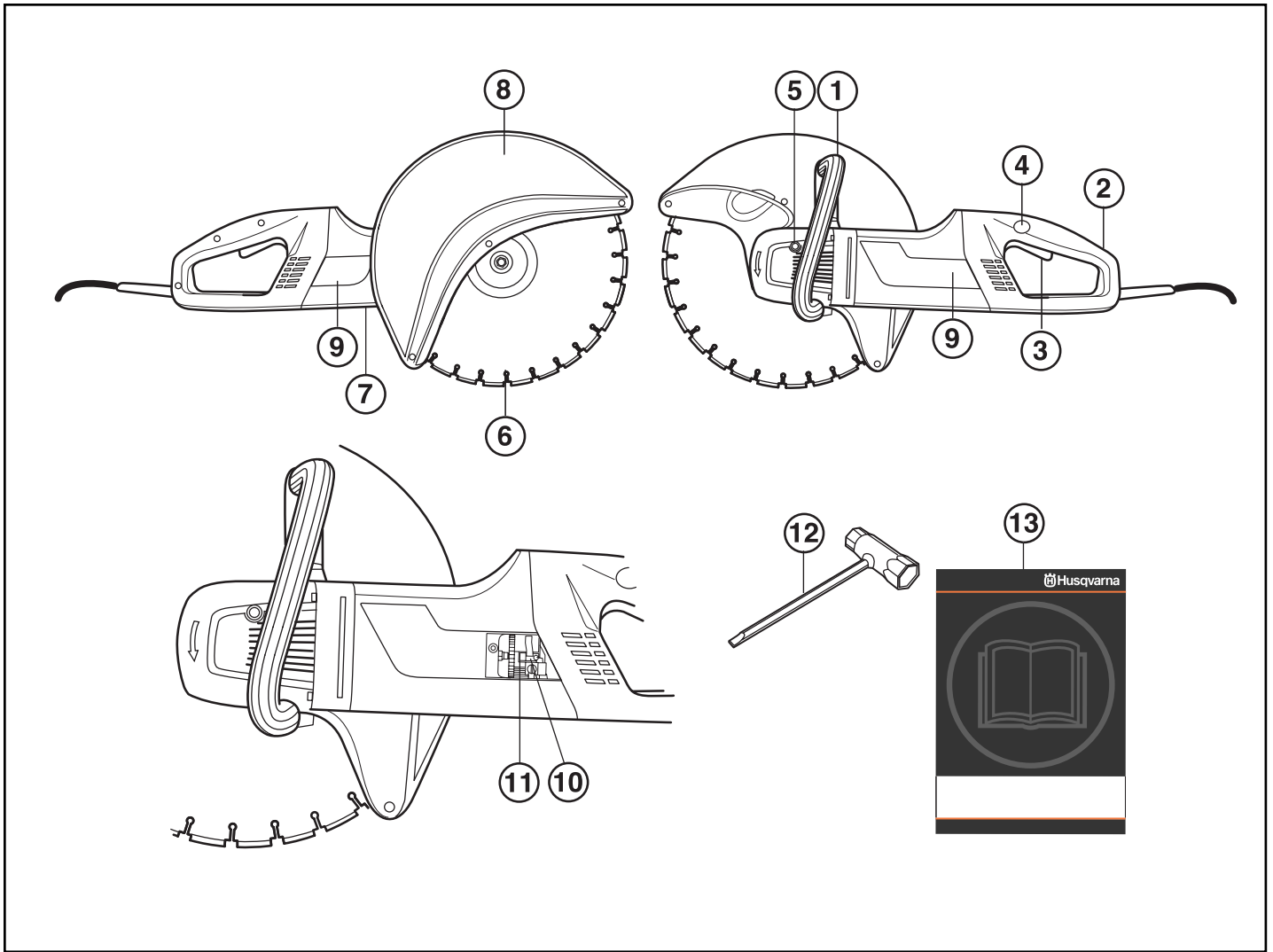
メンテナンス.....15

主要諸元

カッティング装置.....17

EC 適合宣言.....18

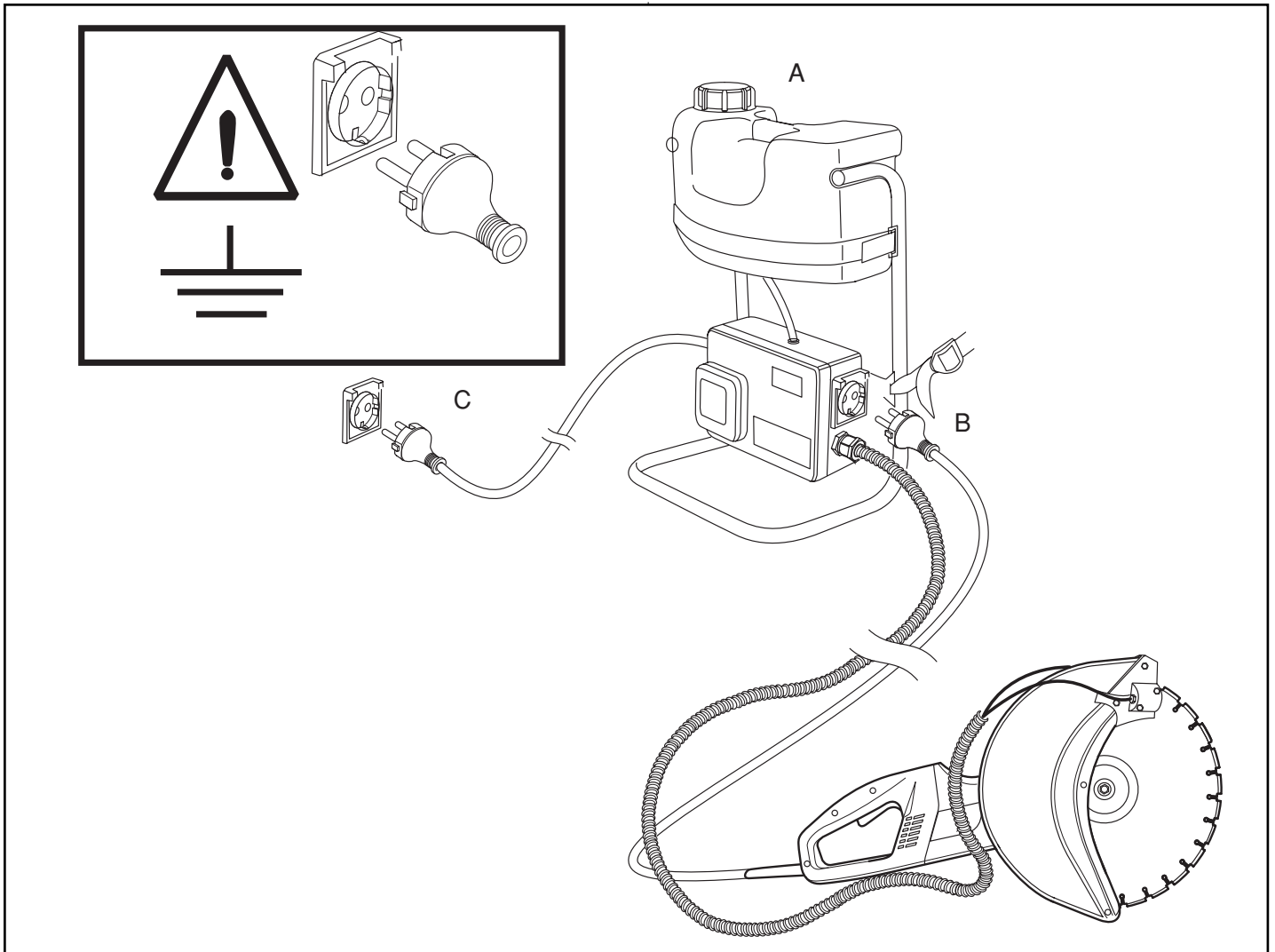
各部名称



パワーカッター各部の名称

- | | | | |
|---|------------|----|---------|
| 1 | フロントハンドル | 8 | ブレードガード |
| 2 | リヤハンドル | 9 | 点検カバー |
| 3 | スイッチ | 10 | カーボンブラシ |
| 4 | 電源スイッチロック | 11 | ブラシリテナー |
| 5 | 軸ロック | 12 | コンビレンチ |
| 6 | カッティングブレード | 13 | 取扱説明書 |
| 7 | 定格銘板 | | |

K3000 SPRAY



- A. 水タンクにきれいな水を入れ、タンクのキャップを閉めます。タンク内の水が凍結する恐れがある場合は、自動車用の解氷ウィンドウウォッシャーを混ぜてください。
- B. パワーカッターのプラグを、ハーネスに取り付けられている電子ボックスに接続します。
- C. 電子ボックスのプラグをアース付きのソケットに接続します。



警告！パワーカッターのプラグは、ハーネスに取り付けられている分電箱に接続してください。絶対に電気の来ている壁のコンセントに直接接続したり、延長コードに接続したりしないでください。

ハーネスの電子ボックスから出ているケーブルは、アースを付けた電気コンセントに接続してください。このとき、絶対に濡れた手で接続しないでください。



警告！水タンクに必ず水が入っていることを確認してください。水が入っていない状態でポンプが稼動すると、ポンプが破損します。乾式切断を行う場合は、K3000 ELを壁のコンセントに直接接続してください。

安全注意事項

新しいパワーカッターをお使いになる前に

- 本書をよくお読みください。
- カuttingブレードの取付状態を確認します。「取付」参照。
- コードや延長コードに損傷がなく良好な状態であることを確認してください。
- 延長コードはグルグル巻き状態で使用しないでください。

パワーカッターの点検や重要な調整、修理は最寄の Husqvarna 取扱店にお任せください。



警告! いかなる場合にも、製造業者の承認なしにパワーカッターのオリジナルデザインを変更することは認められません。常に純正の付属品を使用してください。承認を得ない変更や付属品の代用によって、使用者やその他の人々が重傷や致命傷を負う結果となることがあります。



警告! 切断や粉碎、穴あけ、研ぎ、形成作業により、素材によっては粉塵や有害な化学物質を含む気体を生じることがあります。加工対象の素材の性質を理解し、適切な防じんマスクや呼吸用保護具を着用してください。

身体保護具

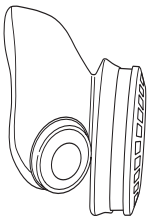


警告! パワーカッターを使用するときは常に、正規の身体保護具を着用しなければなりません。身体保護具の着用によってけがの危険性を排除することはできませんが、事故が起こったときけがの程度を軽減することができます。身体保護具の選択に関しては、販売店にお尋ねください。

- 保護ヘルメット
- イヤマフ
- 保護メガネまたはバイザー



- 呼吸マスク



- 高耐久性で、握りが確かな保護手袋



- 体の動きを制限することがなく、かつ体のサイズに合った丈夫で快適な服装



- 切断対象となる素材に対応したすね当て。
- つま先が金属製で、スリップ防止底のブーツ



- 救急箱は常に近くに用意しておきます。



安全装置

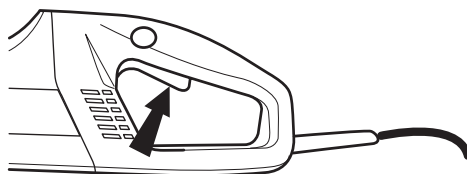
このセクションでは、パワーカッターの安全装置とその目的、および安全装置が正しく機能するための点検やメンテナンスの方法について説明しています。安全装置がご使用のパワーカッターのどこに配置されているについては、「各部名称」の章を参照してください。



警告! 安全装置に欠陥のあるパワーカッターは、決して使用しないでください。この項に記載された説明に従って点検、メンテナンス、サービスをおこなってください。

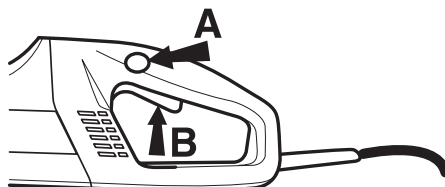
スイッチ

電源スイッチは、パワーカッターの始動と停止に使用します。



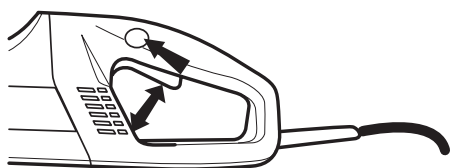
電源スイッチロック

電源スイッチロックはスイッチが間違っても作動しないように設計されています。電源スイッチのロック (A) を押すと、(B) を操作できません。



安全注意事項

電源スイッチが押されている間、電源スイッチロックは押された状態を保ちます。ハンドルの握りを放すと、電源スイッチと電源スイッチロックは元の位置に戻ります。この動作は、2つの独立したリターンズプリングが制御しています。この位置では、パワーカッターの動作が停止し電源スイッチがロックされています。



段階的始動と過負荷防止

本機には電子制御による段階的始動機能と過負荷防止機能が備わっています。

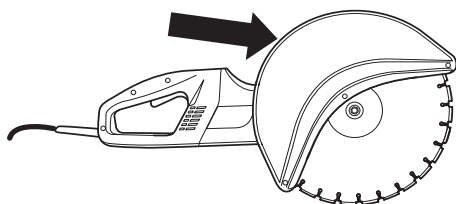
パワーカッターへの負荷が一定レベルを超えると、モーターが振動し始めます。負荷が軽減されるとモーターは通常の状態に戻り、切断が再開されます。

モーターが振動しているにもかかわらずパワーカッターを使用し続けた場合、設定時間を経過すると電子回路が電気の供給をカットします。負荷が大きければ大きいほど、電流をカットするタイミングも早くなります。

ブレードが噛み込んだ場合にも、電子回路が直ちに電流をカットします。

ブレードガード

このガードはカッティングブレードの上に取り付けるもので、ブレードの破片や切断物破片が使用者の方に飛んで来ないようにデザインされています。



パワーカッターの安全装置の点検・メンテナンス・サービス



警告！パワーカッターに関するすべてのサービスや修理をするには、特別な研修が必須です。このことは特に、パワーカッターの安全装置に該当します。ご使用のパワーカッターに、1つでも下記の点検項目を満たさない点がある場合は、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品は、購入後は専門家による修理とサービスが受けられることが保証されています。ご購入店がサービス代理店でない場合でも、最寄りのサービス代理店についてなど、遠慮なくお問い合わせください。

電源スイッチの点検

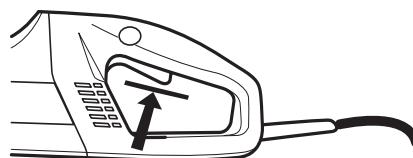
パワーカッターを始動し、電源スイッチを解放し、モーターとカッティングブレードが停止することを点検します。

電源スイッチが故障している場合は、認定された修理サービス店で修理を受けてください。

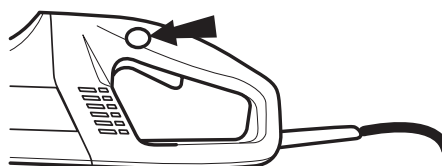


電源スイッチロックの点検

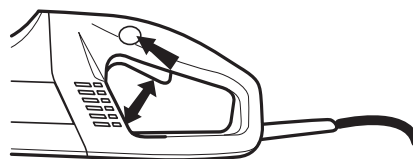
電源スイッチロックが元の位置にあるときは、電源スイッチがロックされていることを確認します。



電源スイッチロックを押し、次に解放したとき、元の位置に戻るかを確認します。



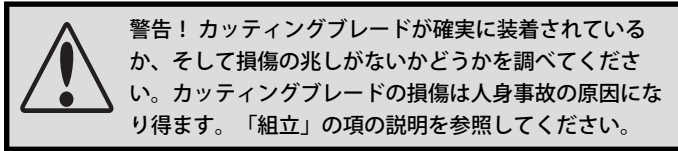
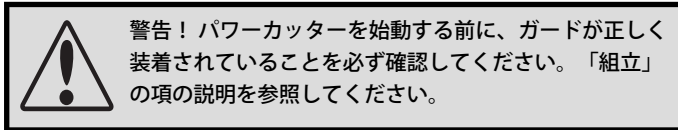
電源スイッチと電源スイッチロックが自由に動くことと、リターンズプリングが正しく作動していることの2点を調べます。



パワーカッターを始動し、電源スイッチを解放し、モーターとカッティングブレードが停止することを点検します。

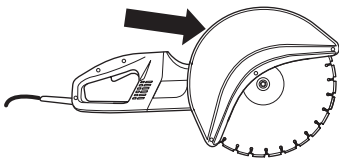
安全注意事項

ブレードガードの点検



ガードに欠けている箇所がなく、亀裂や変形がないことを確認します。

一般的な安全対策



- パワーカッターは、石造物などの硬い材料を切るように設計されています。柔らかい物質を切断する時にはキックバックが起きる危険性が増すことに注意してください。「キックバックの避け方」の項の説明を参照してください。
- パワーカッターの使用は、この取扱説明書をすべて読み終えてからにしてください。「パワーカッターの安全装置の点検・メンテナンス・サービス」に記載された項目ばかりでなく、全てのサービスは教育を受けたサービスの専門家がこなすようにしてください。
- 疲労時や飲酒後、または、視覚、判断力、運動神経に影響をおよぼす薬を服用しているときは、パワーカッターを絶対に使用しないでください。
- 身体保護具を着用してください。「身体保護具」の項の説明を参照してください。
- オリジナルの仕様を変更したパワーカッターは、それがどのような変更であっても絶対に使用しないでください。
- 湿った環境や湿度の高い環境、水の近く、雨または雪の中でパワーカッターを使用しないでください。
- 感電の危険性に注意してください。避雷針や地面の金属などに体を接触させないでください。
- コードを握ってパワーカッターを吊るしながら運んだり、コードを引っ張ってプラグを外したりしないでください。コードや延長コードが水、油、鋭利な物体に接触しないようにしてください。コードがドア、フェンスなどに挟まらないように注意してください。コードが損傷を受けた場合、ドアやフェンスが帯電することがあります。
- コードや延長コードに損傷がなく良好な状態であることを確認してください。コードに損傷がある場合は絶対にパワーカッターを使用せず、認定された修理サービス店による修理を受けてください。
- 延長コードはグルグル巻き状態で使用しないでください。



- パワーカッターは必ずアースをつけた電源コンセントに接続してください。
- 主電源の電圧が、パワーカッター本体の銘板に記されている電圧と一致しているかどうか点検してください。
- 不具合のあるパワーカッターは絶対に使用しないでください。この説明書に記載された説明に従って点検、メンテナンス、サービスをおこなってください。メンテナンスとサービスには研修を受けたサービス専門家によっておこなわれるべきものがあります。「メンテナンス」の項の説明を参照してください。
- 他人の使用を許可する場合は、その人が取扱説明書の内容を理解したことを必ず最初に確認してください。

搬送と保管

パワーカッターは、Cuttingブレードを取り付けたまま搬送したり保管したりしないでください。

パワーカッターは、子どもや関係者以外の人が触れることができないように、鍵をかけて保管してください。

どのタイプのブレードもパワーカッターを使用した後で必ず取り外し、注意深く保管してください。Cuttingブレードは、乾燥していて霜のかからない状態で保管してください。

切断砥石には特別な注意が必要です。切断砥石は必ず水平な平面上で保管してください。ブレードにバックパッドが付いている場合は、スペーサーを使ってブレードを平らに保つようになしてください。切断砥石を湿度の高い環境で保存すると、ディスクが不均等になり負傷の原因となることがあります。

新品のブレードは、運搬や保管による損傷がないか点検してください。

作業に関する一般的な注意事項



警告！ この項ではパワーカッターを使うための基本的な安全規則を説明します。記載された情報は、専門家の技術や経験に相当するものではありません。安全性に懸念が生じたら作業を停止し、専門家のアドバイスを受けてください。販売代理店、サービス店、または経験の豊富なパワーカッターユーザーにご相談ください。確信のないときは作業をおこなわないでください！

基本的な安全規則

- 周囲を確認：
 - 近くの人や動物、または他の物がパワーカッターの操作に影響しないことを確認します。
 - また、これら周囲のものがCuttingブレードと接触しないことを確認します。
- 濃霧、降雨、強風、極寒などの悪天候下ではパワーカッターを使用しないでください。悪天候下での作業は疲れやすく、地面が滑りやすくなるなど危険な条件にもつながります。
- パワーカッターを使って作業を開始するのは、必ず作業場が整い安定した足場が準備できてからにしてください。障害物の予期せぬ動きに注意してください。切断中に材料が動きやすくなり落下するこ

安全注意事項

とのないように注意してください。労働災害の原因になることがあります。傾斜地で作業をするときは、十分な注意が必要です。

- ・ モーターを始動したら、衣服や身体の一部でもカッティングブレードに接触することのないように注意してください。
- ・ モーターが作動しているときは、カッティングブレードから安全な距離を保ちます。
- ・ カッティング装置のガードを必ず取り付けられた状態で本機を使用してください。
- ・ 作業場の視界が十分に明るく、安全な作業環境であることを確認してください。
- ・ カッティング装置の回転中はパワーカッターを移動しないでください。
- ・ 常に安全で安定した体勢を保つようにしてください。
- ・ 配管や電気ケーブルが、切断箇所に配置されていないことを確認してください。
- ・ パワーカッターを始動する前に、コードの損傷を避けるためコードが使用者の後ろに位置していることを確認します。
- ・ パワーカッターは必ずアースをつけた電源コンセントに接続してください。

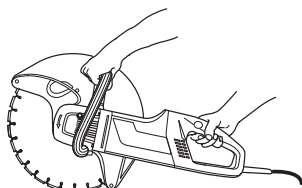
切断



警告！ パワーカッターの安全距離は15メートルです。作業現場に関係者以外の人や動物がいないことを確認してください。作業場所にある障害物を取り除き、足場を確保してから切断作業を開始してください。

概要

- ・ 最高速度で切断を開始してください。
- ・ 常に、パワーカッターを両手でしっかりと持ってください。親指と4本の指でハンドルを包むようにしっかりと握ります。



- ・ カッティングブレードがしっかりと装着されていることを確認してください。

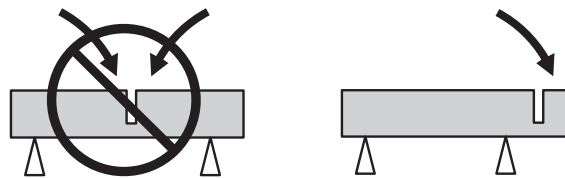


警告！ 振動に過剰にさらされると、血行障害を患っている人は血管や神経を損なう可能性があります。過剰に振動にさらされたことが原因で身体に症状が出たと考えられる場合は、医師の診察を受けてください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は、一般に指や手、手首に現れます。

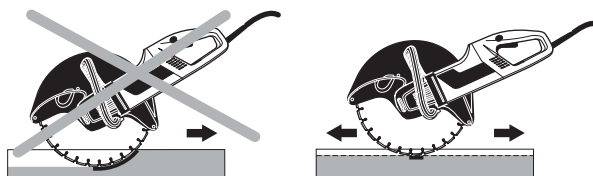
切断のテクニック

ここで説明しているテクニックは一般的なものです。ブレードそれぞれの特徴に関してはブレードの詳細を参照してください（たとえば、ダイヤモンドブレードの送り圧力は切断砥石より低くなっています）。

- ・ 切断対象物は、次に何が起こるか予想でき、切断中に切断面が閉じないような支え方をしてください。



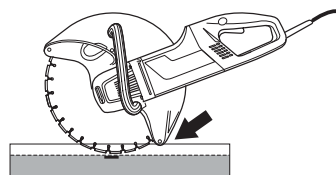
- ・ パワーカッターの始動時、ブレードが何か他の物に触れないことを確認してください。
- ・ 常にフルスロットルで切ってください。
- ・ ブレードを無理に押し付けたりせず、パワーカッターが自然に進むのに任せて滑らかに切り始めます。
- ・ ブレードをゆっくり前後に動かし、ブレードと切断対象物の間に小さな接触面が形成されるようにします。こうすると、ブレードの温度を下げ切断が効率よく行えます。



- ・ ブレードとパワーカッター本体が一直線になるように動かします。横からの圧力がブレードにかかるとブレードに損傷を起こし大変危険です。



- ・ ガードの後部が作業物体に近接する位置になるようにガードを調整します。切断片鱗や火花はガードに阻まれて作業者に向かって飛んで行きません。



警告！ いかなる場合にも、ブレード側面を使って切削することは避けてください。ほぼ確実にブレードが損傷を受けたり壊れたりし、重大な被害につながる可能性があります。カッティングブレードのカッティングゾーンのみを使用して切断してください。

パワーカッターを一方へ引き寄せないでください。こうするとブレードが挟まれたり破損したりし、負傷の原因となることがあります。

安全注意事項

ダイヤモンドブレードの目立て

送り圧力が適切でなかったり、強化コンクリートなどの材料を切断したりするときにダイヤモンドブレードの切れが悪くなる場合があります。切れないブレードを使うと過熱状態になり、セグメントが欠ける原因となります。


砂岩やレンガなど、軟らかい材質のものを切って目立てしてください。

ブレードの振動

ブレードは、過度な圧力がかかると円形にゆがみが生じ、振動し始めることがあります。

送り圧力を弱くすると振動が止まります。それでも振動する場合はブレードを交換してください。ブレードは切断する物質に合わせた推奨タイプを選ぶ必要があります。

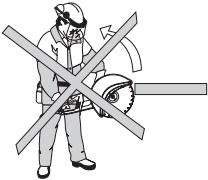
キックバックの避け方



警告！キックバックは突然強い力で起こり、パワーカッターとカッティングブレードが使用者に向かってはじき返されます。カッティングブレードの回転中にキックバックが発生した場合、重傷やさらには致命傷の原因となることがあります。キックバックが起こる原因を理解し、注意を払い、正しい使用方法を用いることが重要です。

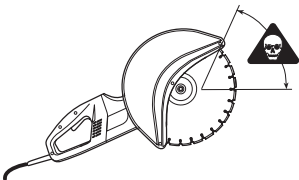
キックバックとは何か？

キックバックという言葉は、カッティングブレードの上側4分の1の部分（キックバックゾーン）が切断対象物に触れた際に、パワーカッターとカッティングブレードが突然はじき返される現象を説明するときに使用されます。

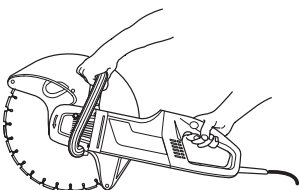


一般的な規則

- 図で示す上側4分の1の部分、つまりキックバックゾーンでは、絶対に切り始めないでください。



- 常に、パワーカッターを両手でしっかりと持ってください。親指と4本の指でハンドルを包むようにしっかりと握ります。



- バランスを保ち、しっかりした足場を確保してください。

- 常にフルスロットルで切ってください。
- 対象物から適度に離れた位置に立ちます。
- 既存の切り口にブレードを挿入するときは注意してください。
- 肩より高い位置で切断を行わないでください。
- 切り口が閉じたりブレードが挟まれたりしないよう、切断対象物の動きやその他の状況に注意を払ってください。

プルイン

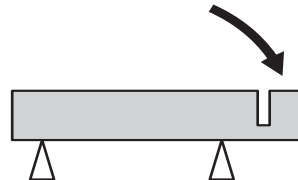
プルインは、ディスクの下部が突然停止したり切り口が閉じたりしたときに発生します。（プルインを避けるには、「基本的な規則」と下記の「挟み込み/回転」を参照してください。）

挟み込み/回転


挟み込みは切り口が閉じるときに起こります。この場合、非常に強い力で突然パワーカッターが引きずり込まれます。

挟み込みの避け方

切断対象物は、切断中および切断終了時に切断面が開いて見えるような支え方をしてください。




カッティングブレード



警告！カッティングブレードは破損することがあり、使用者の負傷の原因となることがあります。

パワーカッターの定格速度より低い定格速度のブレードは絶対に使用しないでください。

カッティングブレードを、絶対に本来の目的以外のことに使用しないでください。

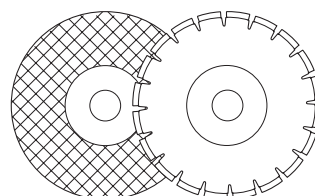


警告！ダイヤモンドブレードまたはレスキューブレードを使用したプラスチックの切削は、切削中に摩擦熱で材料が溶解しブレードが材料と付着してキックバックを起こす原因となります。

パワーカッターにはレスキューブレードを使用しないでください。パワーカッターにはスリッピングクラッチが搭載されていないので、このタイプのカッティングブレードを使用するとキックバックの起こる危険性が高くなります。

概要

カッティングブレードには、切断砥石とダイヤモンドブレードの2種の標準仕様があります。



安全注意事項

パワーカッターを搬送する時はカッティングブレードを取り外してください。


パワーカッターにカッティングブレードを取り付けるためのブッシングが、正しいものであることを確認します。「カッティングブレードの取付」の項の説明を参照してください。

高品質のブレードは、ほとんどの場合、最も経済的です。品質の劣るブレードの場合、通常切断量においても寿命においても劣ります。結果的に加工対象物あたりでは高い費用がかかることになります。

パワーカッターとカッティングブレード		
カッティングブレード	K3000 EL	K3000 SPRAY
切断砥石	有	なし
乾式切断ダイヤモンドブレード	有	なし
湿式切断ダイヤモンドブレード	なし	有
水冷	なし	有
レスキューブレード	なし	なし

水冷

K3000 SPRAY



警告！ コンクリートを切断するときに行う水による冷却は、カッティングブレードを冷やし、粉じんを減らすだけでなくカッティングブレードの寿命をのばします。主な欠点には、非常な低温では使いにくいことと、床や建物の他の部分を傷つける可能性があること、滑りやすくなることなどがあります。

切断砥石を水冷式で使用したあとは、ディスクを約 30 秒間回転させて乾かしてください。切断砥石を湿度の高い環境で保存すると、ディスクが不均等になり負傷の原因となることがあります。

手持式高速パワーカッター

弊社のカッティングブレードは高速な手持式パワーカッター用に作られています。他のメーカーのブレードを使う場合は、それがこの種のパワーカッターに関する規則と条件に適合していることを確認してください。

特殊ブレード

カッティングブレードには、固定機器用として付属部品をつけて使うように作られているものもあります。このタイプのカッティングブレードは、手持式パワーカッターには絶対に使用しないでください。

常に地方自治体に問い合わせ、該当する規則に準拠しているかどうか確認してください。

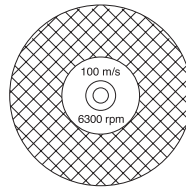
切断砥石

切断砥石の切断部は、有機結合剤によって結合された研磨粒子で構成されています。“強化された”ブレードは、万一最大運転速度でブレードがひび割れたり傷がついても、全面的な破損を防ぐ布や繊維をベースに作られています。

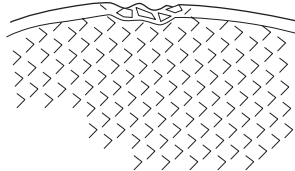
カッティングブレードの性能は、研磨粒子のタイプとサイズ、そして結合剤のタイプと硬度で決まります。

切断砥石、タイプと用途		
	用途	
ディスクのタイプ	材質	水冷
コンクリート	コンクリート、アスファルト、石材、鋳鉄、アルミニウム、銅、真鍮、電線、ゴム、樹脂等。	ダスト軽減のために使用可。切断砥石を水冷式で使用したあとは、ディスクを約 30 秒間回転させて乾かしてください。
金属	鋼鉄、合金鋼、およびその他の超硬合金	おすすめしません

ブレードが、モーターの定格銘板に記載されている速度と同一かそれより速い速度での使用に承認されているかどうかを点検してください。パワーカッターの定格速度より低い定格速度のブレードは絶対に使用しないでください。



ブレードにいかなるヒビや破損もないことを確認してください。



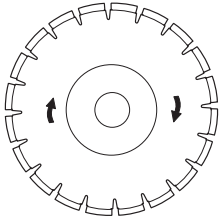
切断砥石を指にかけ、ねじ回しまたは同等な物を使用して軽く叩いてテストしてください。ディスクが共鳴音を出さない場合、そのディスクは損傷しています。



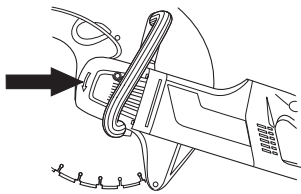
ダイヤモンドブレード

ダイヤモンドブレードは、スチール製の基板と工業用ダイヤモンドのセグメントで構成されています。

ダイヤモンドブレードは切断作業あたりのコストが低く抑えられ、ブレード交換回数も少なく済み、さらに一定の深さで切断することができます。



ダイヤモンドブレードを使用する際には、ブレード上の矢印と同じ方向に回転することを確認してください。



パワーカッターの後部に、ディスク取り付け軸の回転方向を示す矢印が付いています。

常に鋭利なダイヤモンドブレードを使用してください。砂岩やレンガなど、軟らかい材質のものを切って目立てしてください。

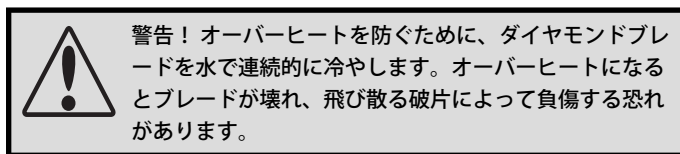
ダイヤモンドブレードには、数種類の硬さ等級があります。“ソフト”ダイヤモンドブレードは寿命が比較的小さいかわりに、切断能力が大きくなります。このタイプは花崗岩や強化コンクリートなど、硬い材質のものに使用します。“ハード”ダイヤモンドブレードは寿命は長くなりますが切断能力は劣り、レンガやアスファルトなど軟らかい材質のものに使用します。

材質

ダイヤモンドブレードは石造物や強化コンクリート、およびその他の合成材に適しています。ダイヤモンドブレードは金属の切断にはおすすしません。

湿式切断ダイヤモンドブレード

K3000 SPRAY

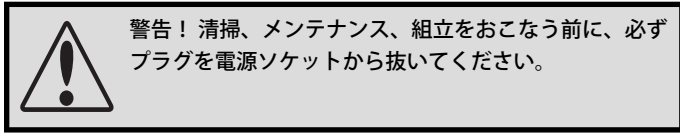


湿式切断ダイヤモンドブレードは切断作業中連続的に上から水を注ぎ、ブレードを冷やすと同時にほこりを固めます。

乾式切断ダイヤモンドブレード

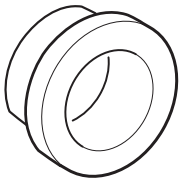
ドライ切削ダイヤモンドブレードは、水冷を必要としない新型ブレードです。しかし、ブレードはやはり過熱によって損傷を受けます。ブレードを切り口から30～60秒ごとに持ち上げ、空中で10秒間回転させれば、経済的にブレードを冷やすことができます。

組立

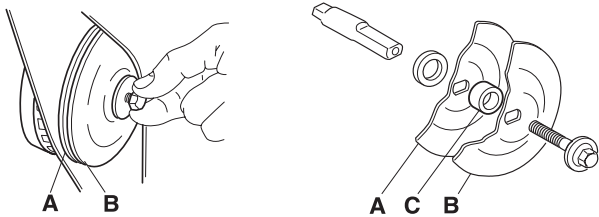


カッティングブレードの取付

Husqvarna社のブレードは手持式パワーカッター用として認可されています。ブレードには中央の穴の直径の異なるものが3種類あります。直径はそれぞれ20 mm、22.2 mm、および25.4 mmとなっています。ブッシングはパワーカッターの軸に固定して、パワーカッターがブレードの中央の穴と一致するように調整することができます。ブッシングは適切な直径のものを使用してください！ブレードには中央の穴の直径が印されています。

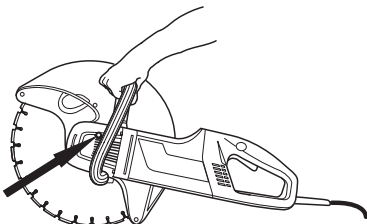


ブレードは、内側フランジワッシャ (A) とフランジワッシャ (B) の間にあるブッシング (C) に付けます。フランジワッシャを回し、回転軸にしっかりと付けます。



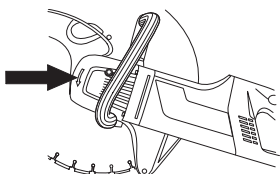
ブレードを固定するネジの締め付けトルクは15~25 Nm です。

カッティングブレード/軸はパワーカッターの反対側にあるロックボタンを押してロックすることができます。ボタンはバネ機構になっており、ボタンを放すと元の位置に戻ります。



ダイヤモンドブレードをパワーカッターに取り付ける際、ブレード上の矢印が示す方向にブレードが回転することを確認してください。

パワーカッターの後部に、ディスク取り付け軸の回転方向を示す矢印が付いています。



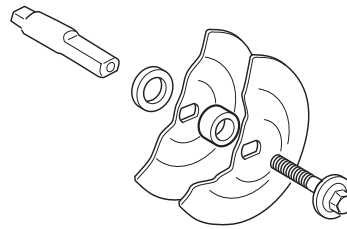
新しいブレードに交換する場合は、フランジワッシャと駆動軸を点検してください。「駆動軸とフランジワッシャの点検」の項の説明を参照してください。

駆動軸とフランジワッシャの点検

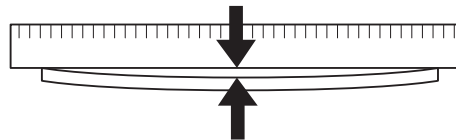


駆動軸のネジ山に損傷がないかどうかを確認します。

ブレードとフランジワッシャの接触面に損傷がないこと、正しい寸法であること、汚れていないこと、および駆動軸上で正しく回転することを点検します。



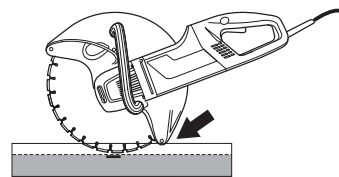
歪み、切り欠け、へこみ、汚れのあるフランジワッシャを使用しないでください。違ったサイズのフランジワッシャは使わないでください。



ブレードガード

ガードは必ずパワーカッターに装着してください。

ガードの後部が作業物体に近接する位置になるようにガードを調整します。切断片鱗や火花はガードに阻まれて作業者に向かって飛んできません。



始動と停止

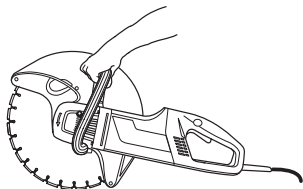
始動と停止



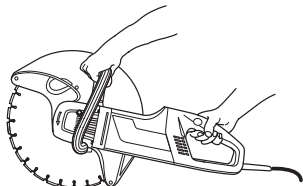
警告！ 始動する前に以下のことに注意してください。
パワーカッターは必ずアースをつけた電源コンセントに接続してください。
主電源の電圧が、パワーカッター本体の銘板に記されている電圧と一致しているかどうか点検してください。
足場が安定していること、カッティングブレードが他のものに触れないことを確認してください。
作業場所に動物や人を近づけないようにしてください。

始動

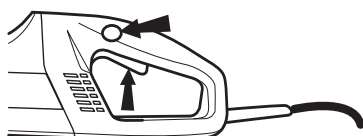
- 左手でフロントハンドルを握ります。



- 右手でリヤハンドルを握ります。



- 右手親指で電源スイッチロックを押し、電源スイッチを押します。



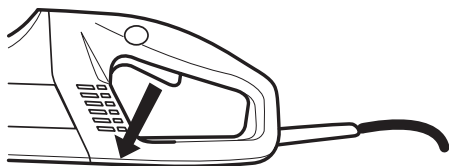
- パワーカッターに負荷をかけず、安全な方法で、少なくとも 30 秒間運転します。

停止



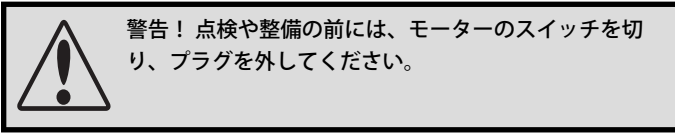
警告！ モーターが停止しても、カッティングブレードはしばらく回り続けます。

電源スイッチを解放してモーターを止めます。



メンテナンス

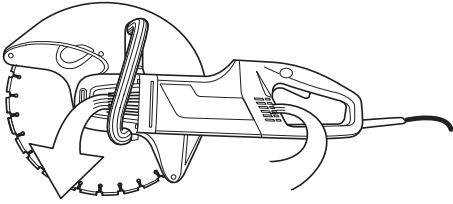
メンテナンス



冷却システム



パワーカッターは効率的なファンを装備しており、モーターを冷却します。パワーカッターのリヤハンドル側の格子から誘導される冷却空気はステーターとローターを通り、モーターハウジングの正面に抜けます。



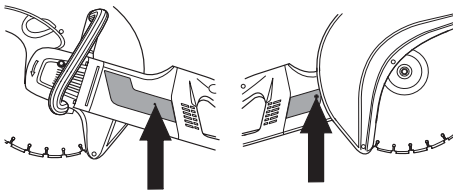
パワーカッターを効率よく冷却するには、冷却空気の吸入口が詰まらないよう常に清掃しておく必要があります。圧縮空気です定期的に清掃してください。

カーボンブラシの交換

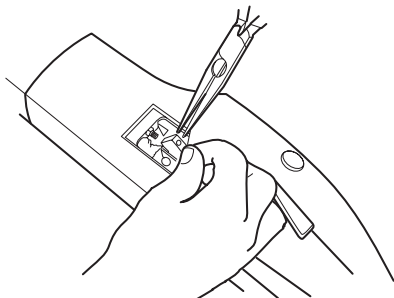
カーボンブラシは最低でも月に1回は点検してください。カーボンブラシは磨耗、ひび割れ、その他の劣化が見られる場合、新しいブラシと交換してください。

ブラシの交換時にはすべてのカーボンブラシを交換する必要があります。

- 両側のねじを緩め、点検カバーを取り外します。



- カーボンブラシを固定しているケーブルを外します。まずバネを持ち上げて取り外し、次にブラシリテーナーからカーボンブラシを取り出します。



- 乾いたブラシでブラシリテーナーを清掃します。
- 慎重にほこりを吹き飛ばします。

- 新しいカーボンブラシを取り付けます。このとき、新しいブラシがブラシリテーナー内で容易にスライドするか点検してください。
- バネを元通りに取り付け、ケーブルを締め込みます。
- 新しいカーボンブラシはアイドル状態で約40分ほど慣らしてください。

ベベルギア

ギアハウジングのグリースは4ヶ月ごとに交換してください。高品質のギアグリースを使用します。

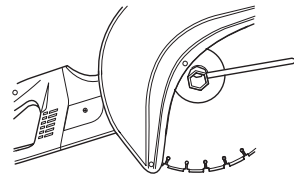
ギアハウジングをグリースで満タンにしないでください。パワーカッターを動作すると温度が上昇し、グリースが膨張します。ギアハウジングがグリースで満タンになっていると、シールが破損し、グリースが漏れる原因となります。

ギアハウジング内のグリースは、合計で90gになるようにしてください。

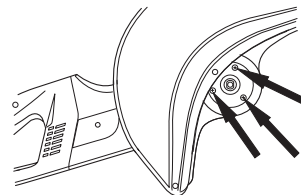
グリースの交換

ギアハウジングのグリース交換には、以下の部品を取り外します。

- 1 カuttingブレード固定用フランジワッシャ

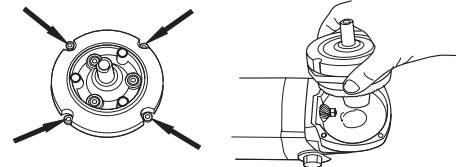


- 2 ガード用サポートフランジ



- 3 ブレードガード

- 4 シールド固定用ねじ4個。ドライブホイールユニットと一緒にシールドをギアハウジングから持ち上げます。

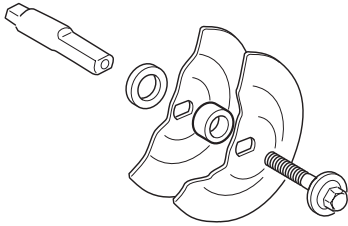


- 5 グリースを拭き取り、新しい高品質のギアグリースを注入します。ギアハウジング内のグリースは、合計で90gになるようにしてください。

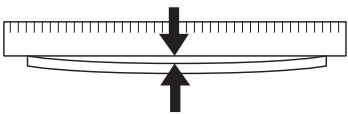
注意！ 取外作業をおこなうときは、ガスケットを損傷しないように注意してください。ガスケットはギアセッティング用のシールおよびスペーサーとして使用されます。

駆動軸とフランジワッシャの点検

駆動軸のネジ山に損傷がないかどうかを確認します。ブレードとフランジワッシャの接触面に損傷がないこと、正しい寸法であること、汚れていないこと、および駆動軸上で正しく回転することを点検します。

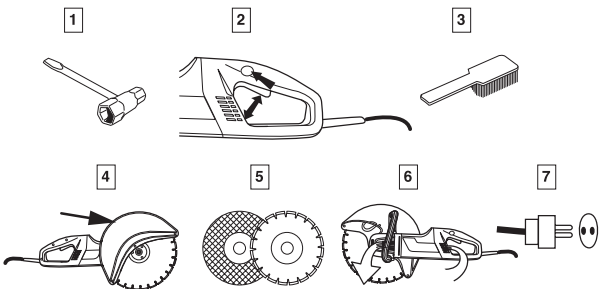


歪み、切り欠け、へこみ、汚れのあるフランジワッシャを使用しないでください。違ったサイズのフランジワッシャは使わないでください。



メンテナンスについて、概略を以下に説明します。

毎日行なうメンテナンス



- 1 ナットおよびネジが確実に締められているかどうかを確認する。
- 2 電源スイッチユニットが問題なく作動するか点検する。
- 3 パワーカッターの外側を清掃する。
- 4 ブレードガードを点検する。
- 5 カuttingブレードの状態を点検する。
- 6 冷却空気吸入口を点検し清掃する。
- 7 コードや延長コードに損傷がなく良好な状態であることを確認する。

主要諸元

主要諸元	K3000 EL	K3000 SPRAY
モーター		
絶縁	等級 1 (本機は二重絶縁ではありません。接地の必要があります。)	等級 1 (本機は二重絶縁ではありません。接地の必要があります。)
軸の最高出力 (rpm)	4500	4500
定格電圧 (V)		
ヨーロッパ	230	230
イギリス	110	110
米国 / カナダ / 日本	100-120	100-120
定格出力 (W)		
ヨーロッパ	2700/12 A	2700/12 A
イギリス	2200/20 A	2200/20 A
米国 / カナダ / 日本	15 A, 50-60 Hz	15 A, 50-60 Hz
重量		
パワーカッター、カッティングブレード非装着時 (kg)	8.8	8.8
Spray バックパック (kg)		4.6
Spray 水タンク (リットル)		4.0
騒音レベル		
使用者聴覚での騒音圧力レベル、ISO/DIS 11201に準じて測定 (dB [A])	95	95
騒音出力レベル、ISO/DIS 3744に準じて測定 (dB [A])	108	108
振動レベル		
(注記 1 参照 1)		
フロントハンドル (m/s ²)	1.7	1.7
リヤハンドル (m/s ²)	3.8	3.8
水冷	なし	有

注 1: ハンドルの振動は、ISO/CD 8662-4 に準じて測定。

カッティング装置

カッティングブレード	最高周速度 (m/s)
12" (300 mm)	80
14" (350 mm)	100

EC 適合宣言

(ヨーロッパのみに適用)

Husqvarna Construction Products, SE-433 81 パツティレ、スウェーデン、電話: +46-31-949000 は、単独責任のもとで宣言します。2006 年以降のシリアル番号（年は銘板に連続した製造番号と一緒に明記）のパワーカッター **Husqvarna K3000 EL, K3000 SPRAY** は、評議会指令（COUNCIL'S DIRECTIVES）の規定に適合しています。

- 1998年6月22日付け「機械類に関する」98/37/EC、付録 IIA。
- 1989年5月3日付け「電磁波適合性に関する」89/336/EECと適用補足文書。
- 1973年2月19日付け「電気機器類に関する」72/23/EEC

次の標準規格にも適合しています：EN 292-2, EN50144-1, EN50144-2-3, EN55014-1, EN55014-2, EN61000-3-2, EN61000-3-3。

お買い上げになったパワーカッターは、EC のタイプ検証を受けたテスト品と一致しています。

2006 年 5 月 10 日 パツティレにて



Ove Donnerdal、開発マネージャ



1150295-79



2007-02-08